

# 教育委員会会議録（12月定例会）

<u>日 時</u>	平成28年12月22日（木） 午後3時00分から午後3時55分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長 委員長職務代行者 委 員 委 員 教育長	森嶋 鎮一郎 上村 由美 花田 和郎 朝日 華子 中山 俊恵
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学校施設課課長（新調理場建設担当） 学務課長 学務課課長 生涯学習課課長補佐 スポーツ振興課長 新体育館建設課長 指導課長 指導課課長 郷土博物館課長 記念図書館長（兼）視聴覚センター所長 教育研究所長 官田調理場長 総務課副参事（兼）庶務係長 総務課課長補佐（兼）計画財務係長 総務課係長（企画員） 総務課主幹 総務課主事	鈴木 透 清水 透 関根 博之 佐藤 行男 内山 信弘 木下 俊雄 小室 博 志藤 忠博 千葉 忠好 川崎 恭子 佐川 章子 助川 正則 鈴木 士郎 勝間田 忠彦 荒川 敏明 中村 大介 酒地 康彦 下村 彰彦 吉野 成実 宇佐美 亮

## 議 事

### 報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

### 議 案

議案第46号 日立市奨学生選考委員会委員の任命について

### その他

- (1) 平成28年第4回市議会定例会について
- (2) 平成28年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について
- (3) 第63回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について
- (4) 児童生徒の表彰等について
- (5) 教育委員会関連行事等について
  - ア 2017年日立市成人祝の概要について
  - イ 池の川さくらアリーナの無料開放「わくわく体験ウィーク」について
  - ウ 第17回日立さくらロードレースの出場者募集について
  - エ ポスター展「日立風流物と日本の山・鉾・屋台行事」の開催について
  - オ 日立市民凧あげ大会の開催について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から12月の教育委員会定例会を開催します。  
本日は、傍聴希望者が3名おります。  
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

## 2 報 告

報 告 第 1 1 号

教育委員会10月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第11号について御意見を伺います。  
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

## 3 議 案

議 案 第 4 6 号

日立市奨学生選考委員会委員の任命について

委 員 長

次に、議案第46号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長

日立市奨学生選考委員会委員に欠員が生じたので、新たに委員を任命するものです。

新しい委員の任期は、平成28年12月22日から、前任者の残任期間の期限である平成29年5月31日までです。

委員は合計で11人ですが、そのうち2人を新たに任命します。

緑川 昭廣氏、佐藤 薫氏は、いずれも民生委員の区分からの選出となりますが、12月9日に行われた役員改選に伴い、新たに任命するものです。

(本件については原案どおり可決されました。)

#### 4 そ の 他

##### (1) 平成28年第4回市議会定例会について

委員 長 続きます。その他に移らせていただきます。  
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 平成28年第4回市議会定例会について、説明します。  
会期は、平成28年12月1日(木)から12月16日(金)までです。

教育委員会関連の質問及び答弁の概要についてです。

まず、一般質問については、2人の議員から質問がありました。

1人目の議員は、伊藤 智毅 議員です。

日立市の教育行政についてということで、中山教育長が平成28年12月24日に任期満了となることから、これまでの約5年間の教育行政の成果をどのように整理し、それらをどう評価しているのかについて質問がありました。

これに対しては、東日本大震災の後に教育長に就任したことから、「すべては子どもたちのために」何ができるのかと考え、進めてきたことが出発点であり、日立市学校教育振興プランに掲げている「いいとこ発見夢づくり」を合言葉として進めてきたということを述べました。

そして、学校教育においては、基礎・基本の定着を図り、また、職業探検少年団等の様々な体験活動を通して、子どもたちの生きる力を幅広く育む機会を提供してきました。

本年3月には、市長が「日立市教育大綱」を策定し、総合教育会議では市長と教育委員の意見交換などを通して、更なる教育行政の推進が図られました。

さらに、学校耐震化や、福祉との連携による切れ目のない子育て支援を推進したことなどを答弁しています。

2点目として、中山教育長は、日立市の教育行政の課題をどのように捉えているかという質問がありました。

これに対しては、まず、学校教育では、個に応じた学習環境を整えていくことが求められており、また、いじめの問題については、早期発見、早期対応の原則とともに、学校がどの子にとっても安心できる居場所であることが、先生方を始め皆さんの共通の思いであるという旨を述べました。

さらに、学校施設の耐震化率は90%まで進みましたが、残る施設についても検討していく必要があります。

一方、学校が小規模化していることへの対応については、子どもたちの学習環境を第一に考え、適正配置の検討を進めていく必要があるということなどを答弁しました。

次に、教育委員会が把握している貧困家庭の実態について質問がありました。

これに対しては、要保護児童生徒、準要保護児童生徒、児童扶養手当を受給している世帯の児童生徒の人数等について説明をしました。

さらに、教育委員会として、格差是正等についてどのように考え、どう進めていくのかについて質問がありました。

これに対しては、経済格差により子どもの将来が左右されることのないよう、子どもを健やかに育てることのできる環境を整備することで、教育の機会均等を図っていきたいと考えており、具体的には、今年度から就学援助制度の対象費目を拡充したことや、各学校に対して、教材費や宿泊学習などにかかる費用の見直しと軽減を要請しており、保護者の負担軽減を図っていくことを述べました。

また、下校後の子どもたちの安心な居場所づくりとして、児童クラブとの連携を視野に入れて、放課後子ども教室の設置を推進していき、学習支援としては、「学びの広場プラス」、「放課後学習室」を各学校で実施していることを述べました。

さらに、家庭環境を整える努力も必要であると認識しており、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう、機会をとらえて様々な支援をしていく旨を答弁しました。

また、費用負担の大きい中学校の制服購入費について、実態の把握状況や対応について質問がありました。

これに対しては、中学校入学時の制服購入費は、一式で概ね4万円程度が必要になるため、保護者にとっては一定の負担になると認識しており、特に女子の制服は、男子よりも高額となり、店舗によって購入時の負担に差が生じることなども課題と考えている旨を述べた上で、アンケート調査の実施や保護者と学校、教育委員会が協議できる場を設けて検討していきたいと答弁しました。

最後に、改築や大規模改造を実施した学校と未実施の学校との格差が生じていることから、今後の格差是正に向けた対応について質問がありました。

これに対しては、まず、老朽化している学校施設の環境を抜本的に改善するためには、改築又は大規模改造による対応が必要であるという認識を述べました。

それを踏まえ、当面は、改築による耐震化を完了させることを優先し、その後に、耐震補強のみを先行させた校舎の大規模改造に取

り組む計画としていますが、緊急性のある部分的な改修については先行させることも必要と考えており、現在は、平成27年度からの4か年計画でトイレ改修に取り組んでいます。

今後も引き続き、改築・大規模改造による計画的な対応を基本に取り組みたいと考えていますが、一方では、学校施設適正配置の検討を進めていることや、学校施設の長寿命化を図る計画の策定が必要となっているため、部分的な改修については、各学校における施設の老朽化状況等を勘案しながら必要性や緊急性等を整理し、その上で、財源確保に努め計画的に取り組んでいく旨を答弁しました。

続いて、2人目の大曾根 勝正 議員です。

まず、子どもの交通事故対策についてということで、歩行中の交通事故による死傷者数は、年齢別では7歳児が一番多いことから、日立市における平成27年度の7歳児の負傷者数について質問がありました。

これに対しては、本市における平成27年中の交通事故死傷者数は972人で、前年に比べて172人減少していることや、そのうち7歳児の負傷者は2人であり、死傷者全体に占める割合は0.2%となり、全国平均の2.6%を大幅に下回っているという現状を答弁しました。

また、小学校1、2年生に対する交通安全の取組の現状と課題についても質問がありました。

これに対しては、本市では、小学1年生に対し、毎年、道路の渡り方などの講話や模擬道路の横断の実技を指導するとともに、保護者には、登校時の立哨を指導していることや、新学期の始めには、下校時の安全対策も実施していることなどを答弁しました。

次に、歩行者専用信号の設置についてということで、通学路をもう一度点検し、歩行者用信号機が未設置の交差点について、市としての取組を強化してほしいと思うが、所見を伺いたいという質問がありました。

通学路の安全対策については、平成26年度に市及び関係機関で構成する「通学路安全推進会議」を設置するなど、小中学校と連携を図りながら推進しています。

毎年度、危険箇所等の把握と関係機関による情報共有に努め、把握した危険箇所については、交通安全施設の整備を推進しているほか、学校による安全指導体制の強化やボランティアによる立哨指導を実施するなど、総合的に児童生徒の安全確保に努めている旨を述べました。

また、実績として、本市ではここ5年間に7か所の歩行者専用信号機の設置を要望し、これまでに2か所が設置されたことを答弁しました。

次に、図書館行政についてということで、行財政改革大綱（第7

次計画) 素案に「図書館への指定管理者制度導入検討」とあるが、どのような考えで入れ、図書館協議会に諮問したのかについて質問がありました。

これに対しては、本市の行財政改革大綱(第7次計画)には、社会の変化に対応した新たなサービスの開拓、市民サービスの向上を図ることなどを目的に、将来を見据えた図書館の在り方の一つとして、「図書館への指定管理者制度導入検討」を盛り込んだところであり、指定管理者制度の導入については、メリット・デメリットを整理した上で、日立市立図書館協議会に諮問したいと考えている旨を答弁しました。

続いて、議案質疑についてです。

下山田 幹子 議員から、平成28年度日立市一般会計補正予算に関連し、2点の質問がありました。

1点目の質問は、トイレ改修の内容についてです。

これに対しては、トイレブースを大きくして大便器を洋式化することを始め、小便器や手洗いの更新、臭いを防ぐための床の乾式化など、内装全体をリニューアルするものであることを答弁しました。

2点目の質問は、改修する学校の選択理由及び今後の改修計画についてです。

改修は、小中学校18校を対象に、昨年度からの4か年のスケジュールで進めています。

本来であれば、大規模改造によりトイレも含めて校舎全体をリニューアルするのが効率的ですが、すべての校舎の大規模改造を実施するには多くの期間を要することから、一部のトイレ改修を先行して実施しており、平成30年度には、予定したトイレ改修を完了できるものと考えている旨を答弁しました。

続いて、教育福祉委員会についてです。

現地調査として、諏訪小学校と市民運動公園総合体育館(池の川さくらアリーナ)の2か所を見ていただいたほか、議案や請願等について審議をいただきました。

委員 信号機の設置について、7か所要望し、そのうち2か所が設置されたということですが、残りの5か所については現在も要望しているのですか。

学務課 継続して要望をしています。

## (2) 平成28年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について

**委員長** それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

**学務課長** 平成28年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について、説明します。

この事業は、本市教育の振興発展に寄与した学校又は教職員を褒賞することにより、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、先進的な実践の共有化を図り、もって本市教育の振興・発展を図るため、実施しているものです。

対象は、市立小学校、中学校、特別支援学校及び幼稚園、そして、その学校に勤務する職員です。

今年度は、幼稚園2園、小学校3校、中学校7校の計12校を褒賞するとともに、特色ある取組を行ったり、他の模範となった教職員22人を褒賞します。

なお、表彰式は、1月18日の学校長・園長連絡会議に合わせて実施します。

## (3) 第63回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について

**委員長** それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 第63回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について、説明します。

教育論文の募集は、日立市教育委員会と日立市教育研究会の共催で行っているものです。

今年度は、10月24日から10月28日までの5日間募集し、個人21編、共同8編、合計29編の応募がありました。

学校種別の応募状況としては、小学校14校19編、中学校7校10編となっております。

年齢別に見ると、特に20歳代の若い職員からの応募が多く、昨年の2倍以上となる9編の応募がありました。

研究分野別では、国語と算数・数学が最も多く、それぞれ5編の応募となっており、各学校で、国語、算数・数学を中心とした学力向上の意識が高まっていることが伺えます。

また、応募された作品の中から、最優秀賞1編、優秀賞1編、優良賞12編を選出しました。

最優秀賞は、滑川小学校の小倉仁子先生による、自身の学級経営の取組についてまとめた生徒指導に関する論文です。

優秀賞は、会瀬小学校において共同研究を行った算数についての論文です。

次に、本年度の特色と傾向についてです。

本年度は、応募総数が昨年度より10編増えており、特に若手の応募が大幅に増え、20歳代の応募が全体の3割を超えました。

また、教育研究所主催の教育論文研修会などにより指導した結果、QUテストの結果を活用するなど、これまでより客観的なデータを根拠として検証する論文が増えました。

なお、応募論文29編のうち、最優秀論文も含め、全体の38%となる11編が研修会参加者の応募となっています。

今後とも、教職員の資質向上、子どもたちの授業づくりのために、教育論文を充実させていきたいと思えます。

**委員** 今回は多くの応募があったということですが、募集に関し、どのような働きかけを行ったのでしょうか。

また、募集期間を10月とすると、4月から半年分の統計しか取れないのではないかと思います。なぜこの時期に設定しているのでしょうか。

そして、論文の審査はどのように行っているのでしょうか。

**指導課長** 1点目、論文を募集するための働きかけについては、各校長に対し、特に若い職員の論文作成について支援していただくようお願いをしました。

また、研修会では、教科ごとにグループをつくり、それぞれに担当の指導主事が入って指導するなど、充実した研修を行えたことも理由の一つではないかと思います。

2点目、募集期間については、県や日本教育公務員弘済会が主催する教育論文募集にも応募できるように配慮し、他の論文募集の締切日に近い10月末としています。なお、今年度、市に応募された論文29編のうち、4編が県の教育論文で入賞しました。

3点目、論文の審査方法ですが、教育研究会から推薦された校長、教頭や、事務局の指導主事、各教科の指導員などが一堂に会して、応募のあった論文全編を2日間で審査し、順位付けを行っています。

**委員** 論文を提出した後も追跡調査を行うことで、より豊富なデータを集計できるのではないかと思います。そういったことを行っている応募者もいるのでしょうか。

**指導課長** 4月からの半年間のデータだけではなく、前年、あるいは2、3年前から蓄積したデータを基に論文を作成した方もいます。

例えば、会瀬小学校の論文は、2年間取り組んだ研究の成果を、1年目と2年目で比較しています。

複数年蓄積したデータを活用するなど、できるだけ精度の高いものを根拠に論文を作成するよう、今後とも指導を続けていきたいと思いをします。

#### (4) 児童生徒の表彰等について

**委員長** それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 児童生徒の表彰等について、説明します。

1点目は、「第3回こども作文コンクール」です。

このコンクールは、読売新聞社と一般財団法人あんしん財団の共催による全国的な作文コンクールです。久慈小学校5年生の永井武琉さんの作品が、大賞を受賞しました。

2点目は、「第19回げんでん科学技術振興事業」です。

坂本中学校が行った科学技術に係る研究が評価され、大賞を受賞しました。

3点目は、「平成28年度「いばらきの魅力再発見事業」」です。

市内の全小学校が応募しており、個人部門である「だいすきわがまち自慢作文」では、河原子小学校4年生の平子奏さんが県知事賞を受賞したほか、市内から1人が県教育研究会長賞を、3人が優秀賞を受賞しました。

また、学校部門である「学校ホームページ」では、豊浦小学校が優秀賞を受賞しました。

4点目は、「第45回小平記念作文」です。

2万点の作品が応募された中で、小学校低学年の部において2人が奨励賞を、中学校の部において2人が優秀賞を受賞しました。

5点目は、「第36回全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会」です。

中学校の部において、1人が優良賞を、3人が奨励賞を受賞しました。

6点目は、「花と緑の環境美化コンクール」です。

806団体の応募があった中、中小路小学校が茨城県造園建設業協会会長賞を受賞しました。

7点目は、「第25回関東中学校駅伝競走大会」です。

山梨県で開催され、男子の部において助川中学校が7位入賞となりました。

## (5) 教育委員会関連行事等について

委員長 それでは、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

生涯学習課課長補佐 2017年日立市成人祝の概要について、説明します。

平成29年1月8日(日)午後1時から、日立シビックセンター新都市広場で開催します。なお、荒天時には、日立市民会館に会場を変更して行います。

対象者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、11月1日現在の住民基本台帳登録者及び登録外で問合せがあった方を含め、2,023人となっております。

主催は、新成人30人で組織する実行委員会となり、8月下旬から準備を進めてきました。

今年度のテーマは、「ありがとう ～20年間の軌跡～」で、これまでを振り返り、20年間への感謝の気持ちを持つとともに、これから歩いていく未来について考える機会となるようにという思いから設定されたものです。

成人祝の内容ですが、記念式典後、アトラクションとして、日立発の女性ボーカルロックバンド「ザ・セイラ」による生ライブ、出身中学校ごとの記念撮影などを予定しております。

スポーツ振興課長 2点の御案内があります。

1点目は、池の川さくらアリーナの無料開放「わくわく体験ウィーク」についてです。

池の川さくらアリーナは、平成29年1月21日、22日に記念式典、イベントを実施し、オープンを迎えます。

その後の一般利用についてですが、池の川さくらアリーナのオープンを記念し、市民へのお披露目と施設の利用促進、生涯スポーツ社会の推進を図ることを目的としまして、1月25日(水)から31日(火)までを「わくわく体験ウィーク」として、スポーツを体験する機会を提供します。

さくらアリーナの全施設を開放して、卓球、バドミントン、バレーボール競技やトレーニングルーム内の機器などを、無料で体験していただけるようにします。

また、さくらアリーナの見学をしたいとの要望にも対応します。

「わくわく体験ウィーク」期間の案内については、1月1日の新年号の市報において案内するとともに、ホームページなども活用し、周知を図ります。

2月1日からの利用申込については、他のスポーツ施設と同様に、インターネット利用による予約システムにより、1月1日から

申込が可能となりますので、こちらについても、市報、ホームページにより周知します。

2点目は、第17回日立さくらロードレースの出場者募集についてです。

開催日は、平成29年4月9日（日）です。

会場、種目などは前回と同様です。

参加料については、中学生と小学生は前回と同額の1,000円ですが、他の部門については、それぞれ500円増額しました。

増額した参加料については、これまで当日引換を行っていた参加記念品のTシャツ、大会プログラム等の参加記念品を事前に郵送するための経費や、親子で参加している子どもに対して新たに参加記念品をお渡しするためなど、参加者へのサービス向上の費用に充てます。

申込期間は、来年の1月6日から1月31日までです。

#### 博物館課長

2点の御案内があります。

1点目は、ポスター展「日立風流物と日本の山・鉾・屋台行事」の開催についてです。

ユネスコ無形文化遺産である日立風流物を含めた国指定重要無形民俗文化財の山車等33件が、一括してユネスコ無形文化遺産となったことを記念して、各地の行事ポスターを集めて展示するとともに、改めて日立風流物の魅力について発信するものです。

会期は、平成28年12月19日（月）から平成29年1月29日（日）までとなります。

会場は、日立市郷土博物館1階展示室です。

2点目は、日立市民凧あげ大会の開催についてです。

日立市の南部地域だけに伝わる伝統凧「八つ凧（やつだこ）」の保存と継承を図るとともに、市民が凧あげ行事を楽しめるよう、日立市民凧あげ大会を開催します。

平成29年1月14日（土）午前10時から、久慈浜海水浴場で行います。

#### 委員長

その他、何かありますか。

#### 生涯学習課課長補佐

2点あります。

まず、家庭教育講演会について、御案内します。

公益財団法人日立財団からの支援をいただき、地域子育て支援事業実行委員会が主催となり、主に未就学児・小学校低学年の子を持つ保護者、幼児教育に関わる保育士、教員、子育てボランティアを対象に家庭教育講演会を開催します。

まず、1月28日に、学校・地域・家庭が協働した子どもの居場所づくりについて理解を深めることを目的とし、大阪市の小学校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」の上映会と、茨城キリスト教大学の飛田 隆先生の講演会を開催します。

次に、2月19日に、心豊かな子どもたちを育てるための具体的手法を学ぶことで、質の高い幼児教育の実践を目指すことを目的とし、東京都墨田区の保育園長である菊池 政隆先生による、保育指導の実技を交えながらの講演会を開催します。

最後に、3月4日に、子どもとの関わり方について理解を深めることを目的とし、NHK Eテレ「すくすく子育て」でおなじみ的大豆生田 啓友先生の講演会を開催します。

続きまして、このたび、キャリア教育優良教育委員会として、本市教育委員会が文部科学大臣表彰を受賞することとなりましたので、報告します。

この表彰は、キャリア教育に取り組む教育委員会・学校・PTA団体等が対象となるもので、今回で10回目となります。

本市は、職業探検少年団の活動を続けてきたことが評価され、受賞することとなりました。

県内では、日立市教育委員会を含め、5つの学校や団体が受賞しました。

また、市内では過去に、日立商工会議所及び日立特別支援学校が受賞した経過があります。

#### 4 次回の教育委員会の日程について

委員 長     それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課 長     平成29年1月27日（金）午後3時から、日立市教育プラザギャラリーBで開催予定です。

#### 5 閉 会     午後3時55分

委員 長     それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了します。

以 上